

みんなのわ

■編集：「みんなのわ」編集委員会

■配布地域：国見・八幡小学校区、木町周辺

■発行：全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）

■発行日：平成29年10月25日 部数 2,000部

八幡デイサービスセンター

今回は、大崎八幡宮のそばにあります八幡高齢者総合施設内の「八幡デイサービスセンター」に伺ってきました。お話を聞かせて頂いたのは同センターの生活相談員の鈴木豊さんです。

同法人では、「乳幼児から終末まで」生涯のどの時点においても、尊厳と習慣を大切にする環境を提供するという「生涯福祉」の理念に基づいて事業を推進し、地域福祉の向上に貢献されています。

八幡デイサービスセンターは2014年に開設されました。同センターでは、利用時間も午後から利用できるなど柔軟に対応しており、敬老会等は近所のお寺を会場に開催する等、利用される方の尊厳や習慣を大事にされています。利用される方は近隣の方が多いようですが、ケアマネジャーからの勧めではなく、多くは利用される方の口コミで利用につながっているそうです。

最近では福祉ネイル（ハンドマッサージを取り入れたネイル）やお化粧教室、調理教室なども行い、楽しみながら身体機能の維持を図って行くことにも取り組み始めています。

様々な取り組みを聞く中で、同センターが「地域と積極的に関わっている」ということもいくつか教えて



頂きました。例えば地域の消防団への参加、通学時の地域のパトロール、登下校時などに危険を感じて駆け込んで助けを求める「こども110番の家」になるなど、地域の安全活動に積極的に参加しています。地域に必要とされる施設となるように、施設内だけではなく地域にも目を向けていると感じました。

大きい施設ではありながら、地域に開かれたアットホームな雰囲気、利用する一人ひとりのことを考えてくれるデイサービスでした。



生活相談員の鈴木豊さん



社会福祉法人青葉福祉会
八幡デイサービスセンター

住所：〒980-0871 仙台市青葉区八幡4丁目7-6

電話：022-341-1405

FAX：022-341-1409

編集委員会
連絡先

国見・千代田のより処「ひなたぼっこ」

〒981-0936 仙台市青葉区千代田町 1-13

TEL 022-343-1340 FAX 022-301-8821

<http://www.clc-japan.com/hinatabokko/>

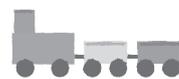
* バックナンバーをご希望の方はお問い合わせください。





私たちの報酬は子どもたちからのありがとうの笑顔です。

仙台おもちゃ病院 エコ



今回はボランティアサークル「仙台おもちゃ病院エコ」の代表、大泉幸一さんにお話を伺いました。このサークルの設立は 2012 年 3 月で、活動の目的・理念は「私たちの報酬は子どもたちからのありがとうの笑顔」です。子どもたちや孫ちゃんの壊れたおもちゃ、愛着のあるおもちゃを修復再生し、物を大切に作る心、ゴミにしない出さない心を伝え、エコ、リサイクル、CO²の削減など環境に貢献しています。地域の子どもの笑顔や家族の笑顔が、やりがいにつながっています。

構成メンバーは現在 7 人（専属 5 人、協力者 2 人）、50 代～ 70 代のスタッフで、いずれも現役時代におもちゃ関連の修理実務経験はありません。現役時の仕事は、学校の先生や福祉系の方、電話会社などさまざまで、大泉さんも車の技術開発に携わっていたそうです。

おもちゃの修理費は、原則無料。部品を交換した場合、部品の実費のみ有料となっています。部品代といっても 100 円ショップでの部品調達や、リサイクル品の活用、手づくりの部品などで工夫して、安価で済むようにそれぞれのメンバーが努力されています。

また、病気の完治率とも言える「完成引き渡し率」は 90%～95%。ほとんどのおもちゃを故障する前の状態に修復できていることは、本当に驚きです。

2012 年に北山市民センターで行われた「北山市民交流まつり」に参加したのをきっかけに、同年 12 月から北山市民センターでのおもちゃ病院の開催につながったそうです。現在は、同センターで偶数月の第一土曜日 13:30～16:00 におもちゃ病院を開催しています。

これまでに、壊れたおもちゃの修復台数は北山市民センターで 233 台（1 開催あたり平均 7.8 台、2017 年 8 月時点）、「仙台おもちゃ病院エコ」全体としての全修復台数は約 1300 台となっています。

活動場所が広がっている同サークルは、取り扱い個数が増加の一途をたどる一方で、スタッフ数が慢性的に不足にしています。興味のある方は、是非下記までご連絡ください。



<仙台おもちゃ病院エコ 開催場所>

- ①青葉区 北山市民センター
偶数月 第 1 土曜 13:30～16:00
 - ②青葉区 せんだい環境学習館たまきさんサロン
奇数月 第 2 日曜 13:30～16:00 (青葉山新キャンパス)
泉区 のびすく泉中央 3F ひろば
泉区 市名坂児童館
幸町南児童館
 - ⑥宮城野区 新田児童館
- *今年12月からは葛岡リサイクルプラザで新たな活動を予定しています。



※おもちゃ病院ボランティアスタッフ募集中
経験は特に必要ありません。半田ゴテと電気の若干の知識があればマンツーマンでおもちゃ病院時に勉強会と個別指導いたします。

仙台おもちゃ病院エコ 代表 大泉幸一
携帯 090-2888-4173
Eメール h_craft2000@yahoo.co.jp

まちの お店たんけん



Hand Made
FIFTEEN
PRINT&CLOTHING FACTORY



ワクワクしていただける
ような店に

代表の熊谷伸彦さん

FIFTEENは、2016年11月に北山2丁目に移転オープンした衣料品店です。過去に「みんなのわ」で取りあげた、絵本とおもちゃのお店「横田や」、キャンドルショップ“Lamp of Hope”の店舗が並ぶ通り沿いに、同店はあります。ガラス張りの店舗正面に映る、とってもおしゃれな洋服と内装が目を引きまします。

FIFTEENは、シルクスクリーンプリント（インクを使ったデザインプリント）、OEM製作（他社ブランド製品の製造請負）、洋服のオーダーメイド、オリジナルブランドの店頭販売を行っています。

オリジナルブランドは、洋服やバッグ、エプロン、財布などの小物を取り扱っています。洋服ブランド“GROW RISE DESIGN”は、ゆったりと着られるドルマンスリーブのワンピース、落ち着いた色合いの七分袖カットソー、暖かみのある素材のメルトンカーディガン、幅広い年齢に合うカジュアルなYシャツなどをそろえています。価格は2,000円～20,000円で、着心地と耐久性の良い洋服を提供しています。バケツトート、レザーハンドルトートなどを扱うバッグブランドは、その名も“FUKURO”。いろいろなスタイルに合わせられるシンプルなデザインに、内部には形・種類もさまざまなポケットが配してあり、使い勝手もとても良い一品です。気に入ったものをずっと持っていられるように、商品はすべて（直せる範囲であれば）一生保障なのも、安心です。

オーダーメイドは型紙代15,000円～。縫製代18,000円～。生地代2,000～3,000円。総額約35,000円～で、世界に一つ、あなただけの洋服をつくることができます。

「洋服づくりが昔から好きだったんです」と話す代表の熊谷伸彦さん。自身の着る服も全て手づくり。デザインからパターン、縫製、販売まですべて一人で手がけているマルチな才能の持ち主です。宮城ドレスメーカー専門学校卒業後、Tシャツのプリント会社勤務を経て独立。2012年、通町に店をオープンさせました。盛況につき、スペース拡大のために昨年、現店舗に移転。最近では、仙台三越をはじめ、全国各地のフェアにも数多く出店して、着実にファンを増やしています。

「卸売りをしない、ネット販売をしない」のが同店のこだわりです。実際に手に取ってもらったときの感覚、お客さんとのコミュニケーションをたいせつにしています。じっくり一つひとつ時間をかけて、心を込めてつくった商品を届けています。まずは、どなたでも気軽に立ち寄ってみてください。そして、使う人の想いに寄り添う、確かなつくりの品物を手に取ってみてください。

DATA
FIFTEEN
〒981-0931 宮城県仙台市青葉区北山2丁目1-16
セントラル北山1F
TEL/FAX 022-718-8750
e-mail growrise@brown.plala.or.jp
HP <http://fifteenfactory.com/>



ひなたぼっこバザーのご報告

9月25日（月）毎年恒例のふれあいバザーをひなたぼっこホールにて行いました。

今年も皆様のご協力のおかげで、たくさんの品物が集まりました。

近所の方や、みんなのわを見て来てくださった方に買って頂き、終了予定時間を待たずに完売しました。

品物を提供していただいた皆様、ご協力いただきまして大変ありがとうございました。

みんなの伝言板

土曜の音楽カフェ

認知症について学ぶカフェ (認知症カフェ)

「良い介護サービス」知っておかなければいけない理由

日時 11月4日(土)13:30~15:15

会場 東北福祉大前駅 ステーションキャンパス (駅の目の前です)

参加費 無料 (コーヒー、紅茶、お菓子を用意します) 申し込み、予約は特にいりません。♪
どなたでも参加できます。

お問合せ 認知症介護研究・研修仙台センター
022-303-7550 (平日 9:00~17:30)
国見地域包括支援センター
TEL: 022-727-8923



男性の料理教室 参加者募集!

カルシウムを摂って元気な骨を作りましょう!

日時 11月14日(火) 10:00~12:00

会場 北山市民センター 2階調理実習室

参加費 無料

内容 「骨粗鬆症や骨折の予防には?」

持ち物 エプロン・三角巾またはバンダナ等・筆記用具

お問合せ 葉山地域包括支援センター TEL: 022-273-4910



タンパク質で身体も脳も元気に生き活きと!

日時 11月28日(火) 10:00~12:00

会場 北山市民センター 2階調理実習室

参加費 無料

内容 「高齢でもタンパク質って必要?」

持ち物 エプロン・三角巾またはバンダナ等・筆記用具

お問合せ 葉山地域包括支援センター TEL: 022-273-4910



おうちで 簡単手作りコーナー⑩ 手ぶくろで作る うさぎ

先日見つけた「てぶくろ」で作るウサギのぬいぐるみがとってもかわいいので作り方を紹介。片手分1枚でできるので、片方だけになった手袋の活用としても便利です。また2体色違いで作るのもかわいいですよ。是非みなさまも作ってみてくださいね。

つくりかた

《用意するもの》

- ・5本指の「てぶくろ」
- ・プリント布(耳に2枚分)
- ・フェルト(頬に2枚分)
- ・目玉ボタン(目鼻分)
- ・ソーイングセット
- ・綿(お好みの量)

軍手や手ぶくろで
簡単に作れるよ!



1



「てぶくろ」を裏返し、印のように縫い合わせる。

2



中指・薬指部分を残し切り取る。

3



表に戻し、上の部分(指2本と手の掌の部分)綿を詰め、緩まないように縫い止める。(顔)

4



残りの下の部分に綿を詰め、下をしっかりと縫い止める(胴体部)

5



切り落とした親指と人差し指(足)小指(尾)の部分に綿を入れ縫い止め、胴体部にそれぞれ縫い付ける。

6



目や鼻をつけ、耳にプリント布首にリボンをつけて完成。

*目玉ボタンがなければ刺繍してもOK!

定義山ツアーのご報告



10月2日(月) 定義山ツアーへ行って来ました。紅葉には少し早い時期でしたが、過ごしやすい気象に恵まれ、のんびりと定義山を散策しました。皆さんそれぞれ参拝をしたり、定義山名物の三角あぶら揚げを食べたり、おみやげを買ったりと、楽しんで来ました。

参加者の皆さんから「また企画してね!」との声を頂きました。皆さんと一緒に和気あいあいと楽しい一日を過ごすことができました。

ひなたごはん 11月の予定

1食
300円

11月7日(火) 17:00~19:00

- ・豚汁
- ・おにぎり



11月21日(火)17:00~19:00

- ・シチュー
- ・サラダ
- ・パン

* どなたでもお気軽にご利用ください!
* 前日までに予約をお願いします。
TEL 022-343-1340 ひなたぼっこ